チャイナ・モバイルが ゴールドメンバーとして Linux Foundation に参画

2010年11月2日　サンフランシスコ発
Linux の成長加速に取り組むグローバルな非営利団体である The Linux Foundation（略称: LF）は、中国移動通信(China Mobile Communications Corporation、略称：China Mobile [中国移動]、親会社： China Mobile Ltd. [NYSE: CHL] ）が、The Linux Foundation のゴールド
メンバーとなり、中国企業として初めてのメンバー参画が実現したことを発表しました。

現在、China Mobile
は、通信会社として世界最大の市場価値を有しています。また、顧客ベースとネットワーク規模においても世界最大の通信事業者であり、音声データ、IP
テレフォニー、マルチメディアなどのモバイル サービスを提供しています。China Mobile
は、Androidベースの独自の「OPhone」 モバイル OS で Linux に投資しているほか、OSS
をベースにしたクラウド コンピューティング システムの開発も行っています。今回の The Linux Foundation への参画は、Linux プラットフォームに対するさらなる注力の表れです。

The Linux Foundation は、Linux
の世界規模のプロモーション、トレーニング、標準化に取り組み、コンピューター業界における技術とマーケティングの連携を促進しています。The Linux Foundation
のメンバーシップには、プラチナ、ゴールド、シルバーの 3 種類があります。現在、約 100 社がメンバーとして参画しており、そのうち、プラチナ メンバーは 7 社、ゴールド
メンバーは、China Mobile 社を含めて 10 社です。

The Linux Foundation のエグゼクティブ ディレクターである Jim Zemlin
は、次のように述べています。
「China Mobile の The Linux Foundation 参画と Linux
への取り組みは、中国および電気通信業界における OS
再編に向けた大きな一歩を表しているかもしれません。The Linux Foundation にとって、Linux という新しい選択肢を 5 億 6000 万人の利用者に提供できるこの機会は、大変貴重です。」

また、China Mobile Research Institute のゼネラル マネージャーである Bill Huang
氏は、次のように述べています。
「China Mobile は、The Linux Foundation を世界最大の非営利の Linux 組織であり、Linux のテクノロジ、標準化、およびイノベーションの中心と認識しています。弊社は、Linux
システムのオープン アーキテクチャの大きな価値を理解しており、世界規模で Linux
に貢献できることを楽しみにしています。」

近年、中国は、Linux においてますます重要な役割を果たしています。中国の開発者は、Linux カーネル開発に貢献しており、Linux は、中国の商業や教育に広く使用されています。最近 Springboard Research 社と Spiceworks 社が共同発行した調査報告によれば、中小企業における Linux サーバーの導入率は、世界平均よりアジア太平洋地域のほうが 25 %
高いことがわかっています。

Sina、Shanda、Baidu、Taobao、Netease など、中国の大手インターネット企業の多くは、Linux

のオープン アーキテクチャ、安定性、パフォーマンスを理由に Linux
を使用しています。また、Huawei や Lenovo などのハードウェア企業は、Linux
ベースのルーター、サーバー、ノートブック、携帯電話などを出荷しています。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com